

独立行政法人国立病院機構災害医療センター  
2025年度 第11回受託研究（治験）審査委員会  
会議の記録の概要

開催日時：2026年3月18日（水）16:04～16:29

開催場所：災害医療センター 9階 特別会議室

出席者委員名：関口直宏、上村光弘、荒義昭、植竹宏之、齋藤俊彦、土師宏之、  
高橋尚毅、伊東文子

欠席者委員名：正岡博幸、大林正人、鈴木美和、井上紳、白檮山誠

～治験及び製造販売後臨床試験に関する議題及び審議結果を含む主な議論の概要～

【審議事項】

議題1： インサイト・バイオサイエンス・ジャパン合同会社の依頼による未治療びまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫を対象とした tafasitamab の第3相試験

- 当該治験薬で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性につき審議した。

治験実施状況報告書に基づき、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題2： 田辺ファーマ株式会社による再発又は難治性のびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫を対象とした MT-2111 の第Ⅲ相試験

- 当該治験使用薬で発生した重篤な有害事象および措置報告について、引き続き治験を実施することの妥当性につき審議した。

治験実施状況報告書に基づき、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題3：（治験国内管理人）Fortrea Japan 株式会社の依頼による転移性非扁平上皮非小細胞肺癌患者を対象に、SB27（ペムプロリズマブのバイオ後続品候補）とキイトルーダの有効性、安全性、薬物動態及び免疫原性を比較する第Ⅲ相、無作為化、二重盲検、多施設共同試験

- 当該治験使用薬で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性につき審議した。

治験実施状況報告書に基づき、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 4：ビーワン・メディシズ合同会社の依頼による再発又は難治性の慢性リンパ性白血病又は小リンパ球性リンパ腫の患者を対象に BGB-16673 の安全性及び有効性をピルトブルチニブと比較して評価する試験

- 当該治験使用薬で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性につき審議した。

治験実施状況報告書に基づき、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 5：アッヴィ合同会社の依頼による再発又は難治性のワルデンシュトレームマクログロブリン血症又はリンパ形質細胞性リンパ腫の日本人患者を対象とした、ベネトクラクス単剤療法の第Ⅱ相試験

- 当該治験使用薬で発生した重篤な有害事象および年次報告について、引き続き治験を実施することの妥当性につき審議した。

治験実施状況報告書に基づき、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。

審議結果：承認

#### 【報告事項】

議題 1：MSD 株式会社の依頼による MK-3475 の古典的ホジキンリンパ腫を対象とした第Ⅲ相試験

- 治験終了報告書が提出されたことが報告された。

議題 2：CSL バーリング株式会社の依頼による遺伝性血管性浮腫患者を対象とした CSL312 の非盲検第Ⅲ相試験

- 治験終了報告書が提出されたことが報告された。

#### 【特記事項】

特になし。